

K N O  
 小野澤繁雄  
 布宮 慈子  
 河村 郁子

うつすらと雪の降りたる日の午後に行く人見ゆ市民農園 3月14日 N

多すぎる枝のそのなか一輪を探すがして二、三輪みる 3月27日 O

夏越しをさせたシクラメン三月になりて咲きたり紅色の花 3月29日 N

クリスマスに姉の見舞にと頂きしシクラメン咲き継ぎ水遣りすなり 3月31日 K

働いて生きいる難を幾たびか子にみしことも辛夷花みる 4月2日 O

風つよき日の空白く黄砂とPM2.5飛んでゐるといふ 4月5日 N

慶州より来日したるご夫妻が「空気がきれい」と新宿街中 4月9日 K

あいまいになる終り方とみるまでに飛行機雲は夕そらはかな 4月11日 O

風のなき空に誘はれ花を見つ三分咲きなり霞城公園 4月16日 N

わが庭に海老根蘭の咲きさかる五十年来根を張り継ぎて 4月23日 K

いつの間にブルーバードシルフィも消えていてその家のことも長くみしなり 4月26日 O

閑上ゆりあげの津波の跡を見にゆけば復興道路にまだ信号はなし 4月30日 N

百歳おうなの媪は俳句をまとめ初む入居より四年の秀作あまた 5月5日 K

こどもの日も歩いて店にだんご買う遠き子ならぬ近き亡き子に 5月7日 O

てくてくとホールを目指しブラムス聴きに行く日の夕焼けの色 5月11日 N

亡き姉に白いカーネーション探し歩あむ街中花屋は赤にはなやぐ 5月12日 K

草の種も変つてすでに春の花挟まれ歩む土手のみちなり 5月14日 O

ツツジ咲く五月の空は晴れてゐてどこどこまでも行ける気がする 5月20日 N

山ぼふしの花散りはててはやばやと果実の形萌黄もよぎに揃ふ 5月24日 K

底なしの沼をつくらんと声二人ペットボトルに水を持ち込む 5月26日 O



あらかたは田植を終はりて月山を望む景色に水田が光る	5月31日	N
玉苗のあはひに赤城の山なみを映す西伊豆車窓のたまゆら	6月5日	K
一周のうちにも風のあるところ帽子の人はかぶり直しす	6月8日	O
バラの咲く通りは夜の散歩道ふくらみかけたやさしい月よ	6月12日	N
梅雨あらしの予報のまえの静けさに狭庭のみどりが小雨にゆれる	6月15日	K
玄関先に茄子を育てている家か肩の高さにみる花のいろ	6月17日	O